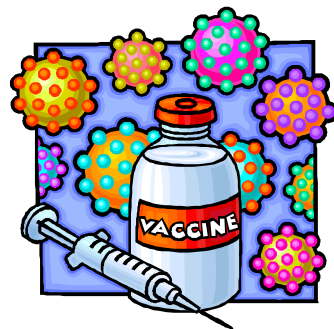


肺炎球菌とは？

肺炎球菌ワクチン予防接種とは？



【肺炎球菌とは？】

答え：普通に生活している人たちが発生する肺炎の約3分の1の原因となっている細菌です。毒性が強く、重症化するのが特徴です。

【ワクチンで完全に予防できるのですか？】

答え：肺炎球菌には約90種類の型がありますが、ワクチンは肺炎球菌による肺炎の8割を起す23種類に効きます。接種したから絶対にかからないわけではありませんが、重症化を防ぎます。

【ワクチン接種で一生涯、効果がありますか？】

答え：1回の効果はだいたい5年続くとされています。ワクチンの効果は接種1ヶ月で最高値となり、その後4年間はあまり低下しません。5年後には、ピーク時の80%まで低下しますが、5年目以降も効果は残ります。

【5年後にまた接種できますか？】

答え：日本では、再接種は認められていませんでしたが、10月18日付けで、再接種が認められ初回接種から5年が経過していれば接種を受けることができるようになりました。

【新型インフルエンザ対策として肺炎球菌ワクチンを接種した方がいいのはなぜ？】

答え：新型に限りませんが、インフルエンザ感染後は肺炎球菌などの細菌感染を起こしやすい状態になるからです。

【ワクチン接種をした方がいいのはどんな人ですか？】

答え：65歳以上の方や、60歳から64歳で、心臓、腎臓または呼吸器の持病、免疫が落ちる病気のある方(障害者手帳1級取得者等)にお勧めします。



肺炎球菌ワクチンはすべての肺炎に有効ではありません！

問い合わせ先:いきいき健康課 0556 - 32 - 2114